

地図利用実態調査2017

株式会社ゼンリン 2017年4月

I. 地図利用実態2017

■ 回答者属性

1. 1年以内の地図利用率
2. 移動するときに使う地図
3. 迷ったときにまず頼るもの
4. 位置情報を提供する際の抵抗感（2014→2017）

II. 地図利用実態2017 ～ビジネスパーソン編～

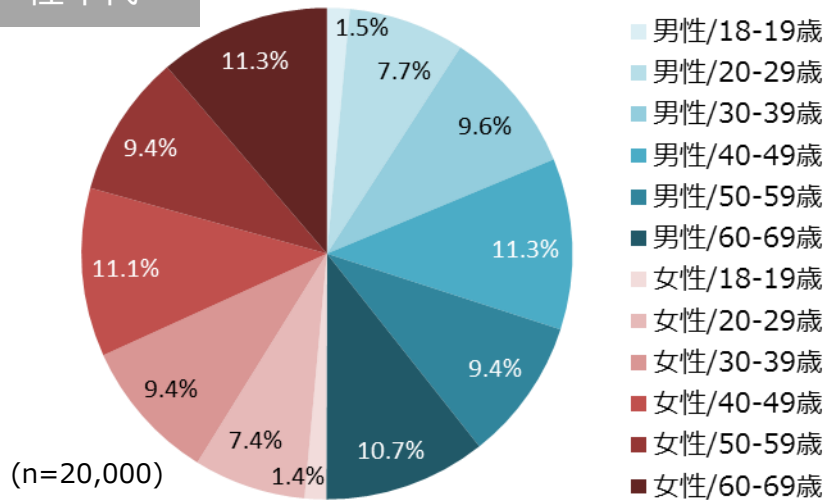
■ 回答者属性

1. 業務での1年以内の地図利用率
2. 業務での1年以内の利用機器

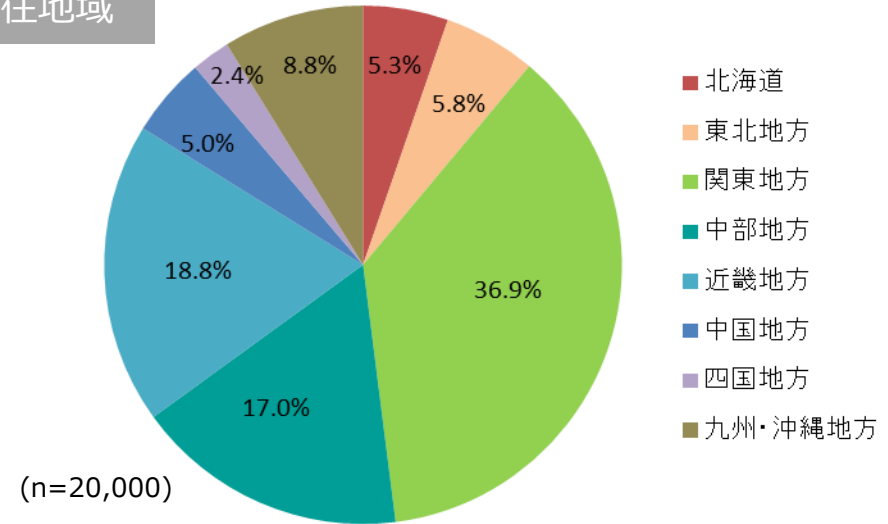
◆ 調査概要

I. 地図利用実態2017

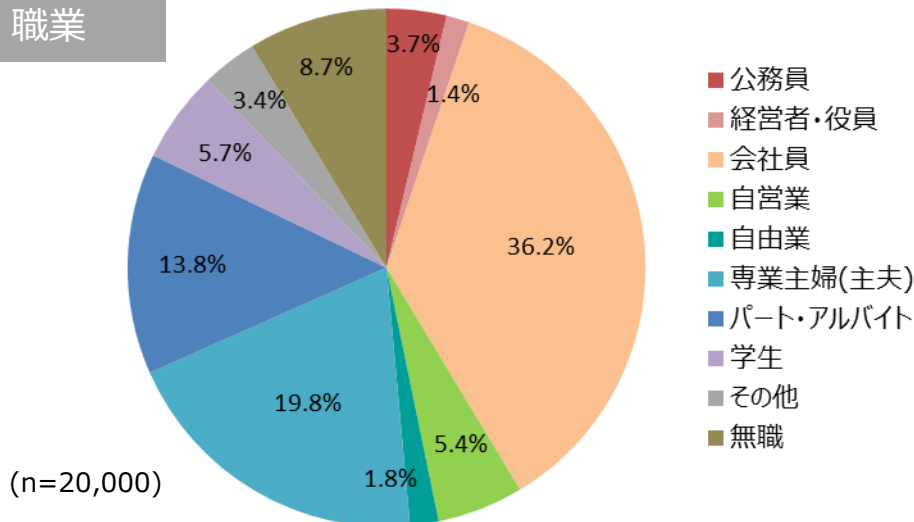
性年代



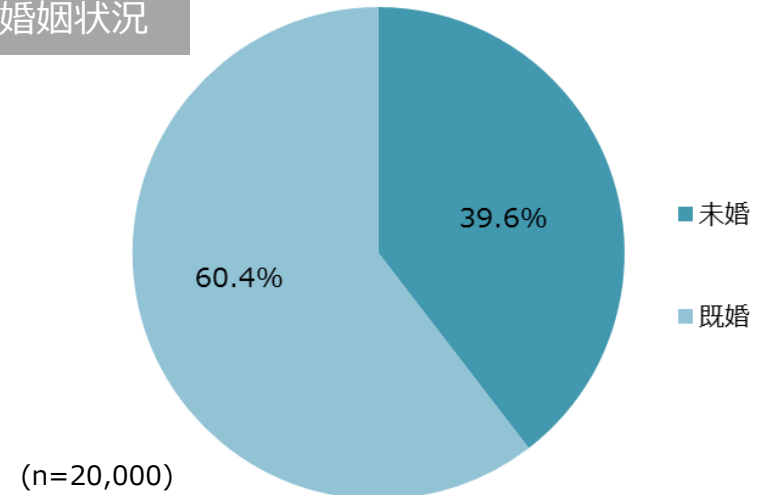
居住地域



職業



婚姻状況

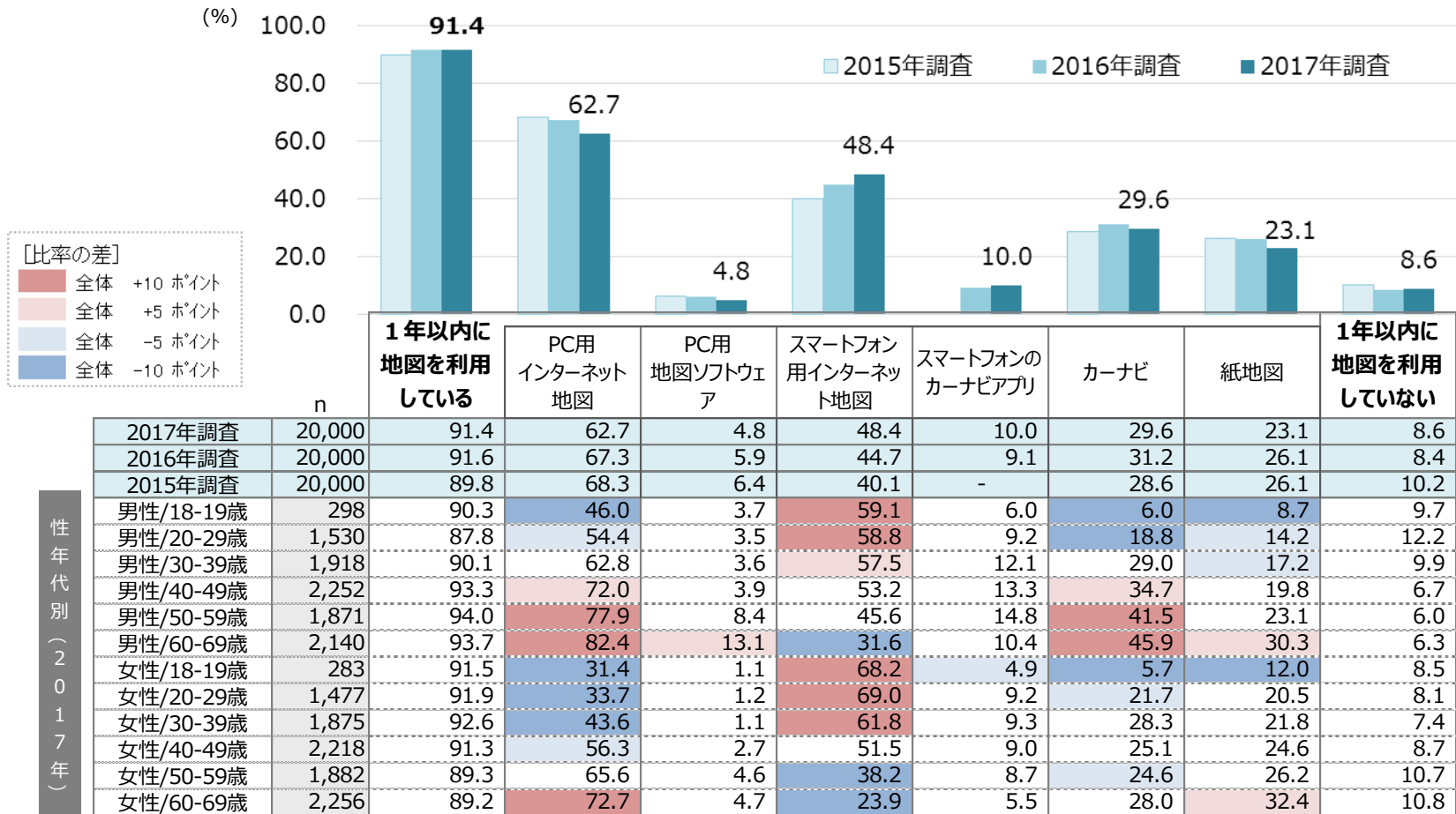


1. 1年以内の地図利用率

- ◆ 「1年以内に地図を利用している」人の割合は91.4%。この3年間9割前後で推移している。
- ◆ 「スマートフォン用インターネット地図」の利用率は48.4%。「スマートフォンのカーナビアプリ」は10.0%。

Q. 次に挙げる地図や位置情報に関連する商品・サービスについて、あなたがここ1年以内に利用したことのあるものをすべてお答えください。

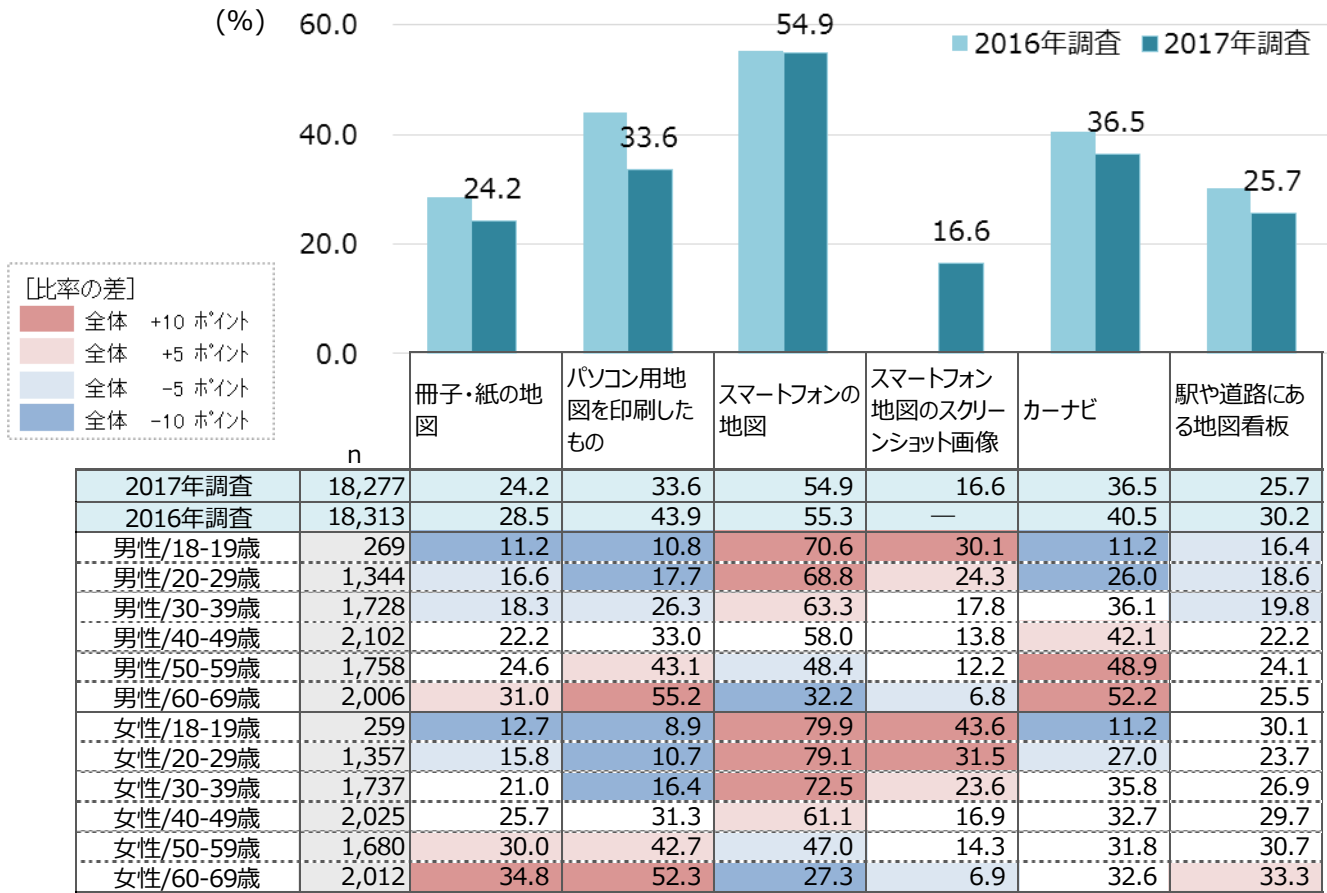
※お仕事や学術・研究目的での利用は除いてお答えください。（複数回答）



2. 移動するときに使う地図

- ◆ 全体では「スマートフォンの地図」(54.9%)が最も高く、「カーナビ」(36.5%)が続く。「パソコン用地図を印刷したもの」(33.6%)は昨年調査と比べて10.3ポイント減少。
- ◆ 今回新たに聴取した「スマートフォン地図のスクリーンショット画像」は16.6%。年代が低いほど利用率が高い。

Q. あなたが移動の際に地図を見ると、ここ1年以内で利用したものをお答えください。(複数回答)



対象者：1年以内地図利用者

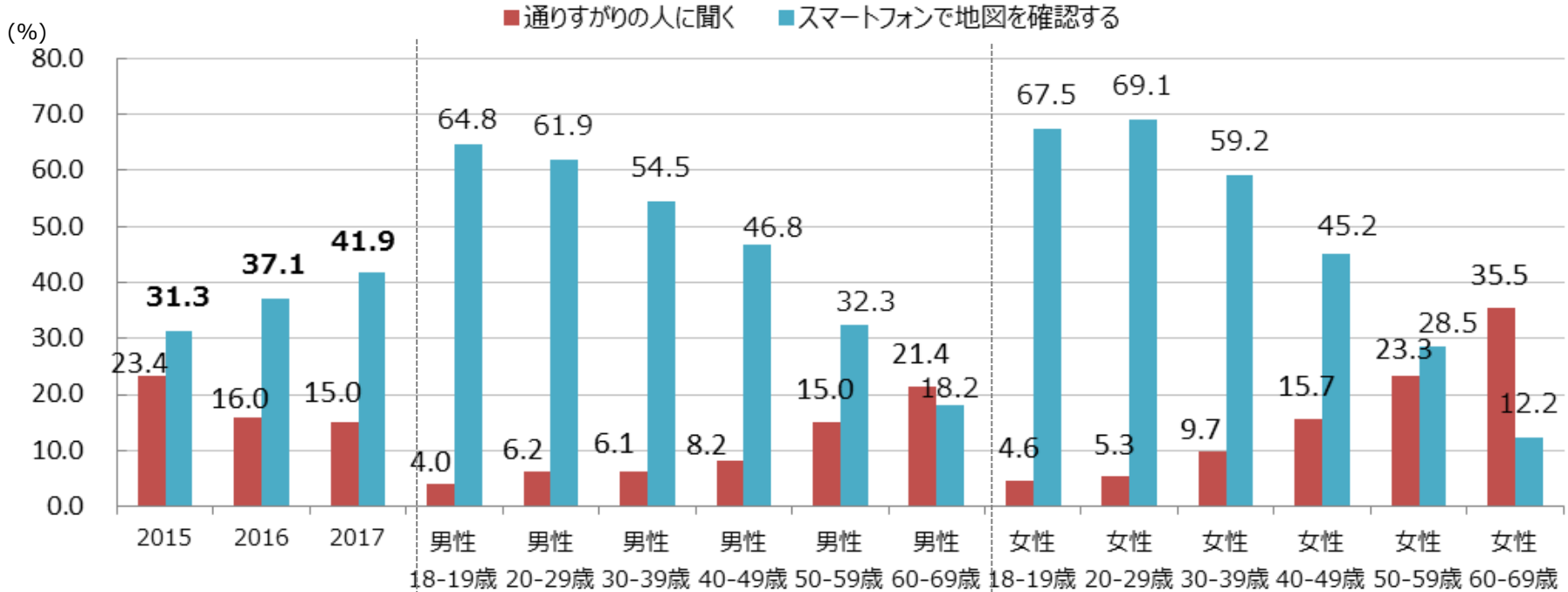
※地図を印刷してのご利用は、用途によって複製の利用申請が必要です。

3. 迷ったときにまず頼るもの

- ◆ 迷った時にまず「スマートフォンの地図を確認する」人は41.9%で、昨年調査から4.8ポイント増加。一方「通りすがりの人に聞く」人は15.0%で、昨年調査から1.0ポイント減少。
- ◆ 性年代別にみると、男女ともに年代が低いと「スマートフォンで地図を確認」が高くなり、年代が高いと「通りすがりの人に聞く」が高くなる傾向。また、男女60代では「人に聞く」の方が「スマートフォンの地図を確認」より割合が高い。

Q.あなたは道に迷ったとき、まず最初にどのように対処しますか。あなたの普段の行動として、もっとも近いものをお選びください。（単一回答）

※上位2項目を抜粋



対象者：事前調査回答者全体

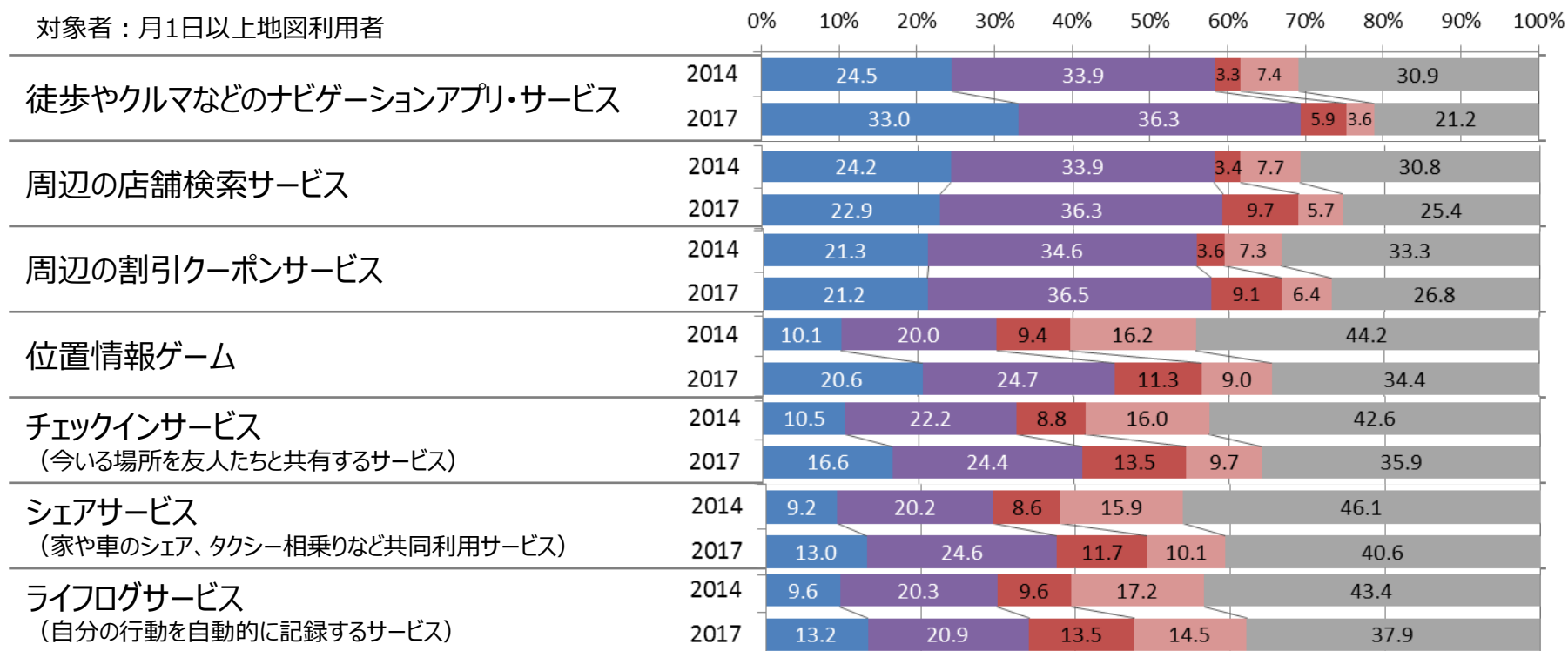
4. 位置情報を提供する際の抵抗感（2014年→2017年）

- ◆ 7つの位置情報サービスすべてで、「利用していないので判断できない」が減少。この3年間で利用が進んだことがわかる。
- ◆ この3年間で「抵抗なし」が5ポイント以上増加したのは、「ナビゲーション」「位置情報ゲーム」「チェックイン」。一方「周辺店舗検索」「周辺の割引クーポン」は、「抵抗ない」が約2割で横ばい、「絶対に提供しない」が5ポイント以上増加。

Q. モバイル端末のGPS機能などを使って自分の今いる場所を特定することで利用できる位置情報サービスに、自分の位置情報を提供することへの抵抗感について、それぞれ当てはまるものをお選びください。モバイル端末をお持ちでない方は、お持ちだと仮定してお答えください。（各単一回答）

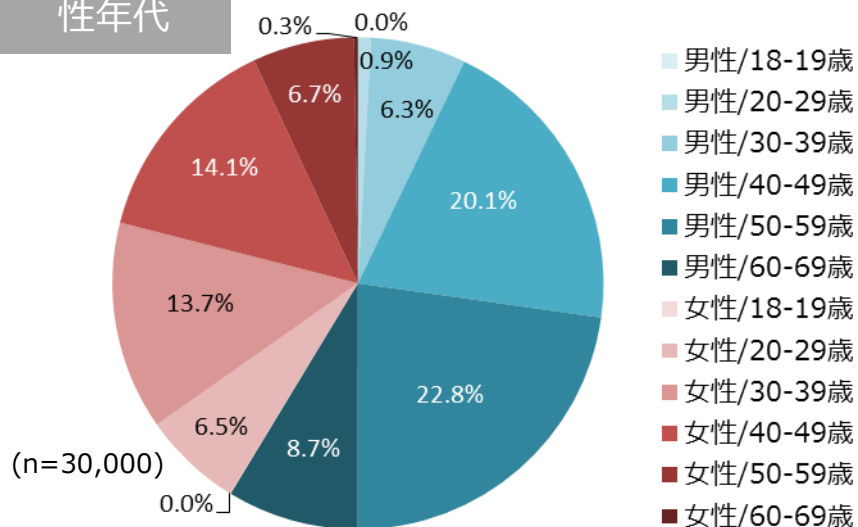
■ 抵抗なし ■ 内容により判断 ■ 絶対提供しない ■ 利用したことないが提供したくない ■ 利用したことないので判断できない

対象者：月1日以上地図利用者

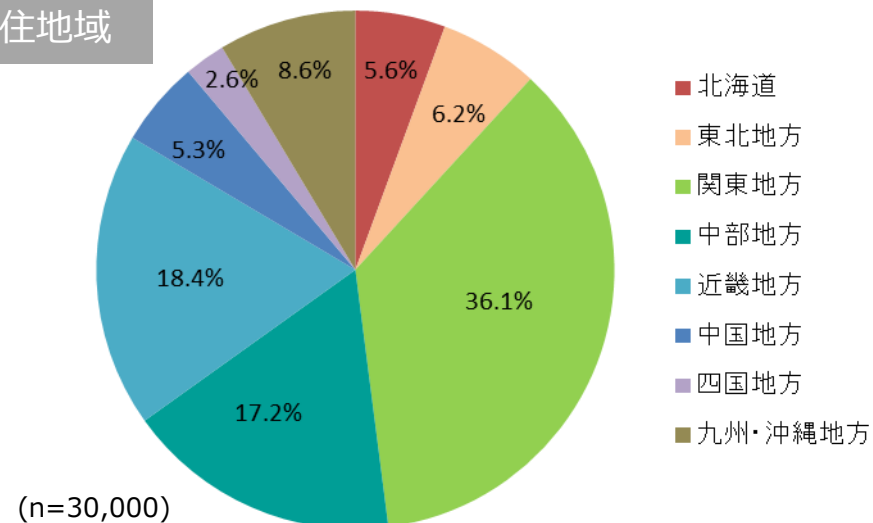


Ⅱ．地図利用実態2017 ～ビジネスパーソン編～

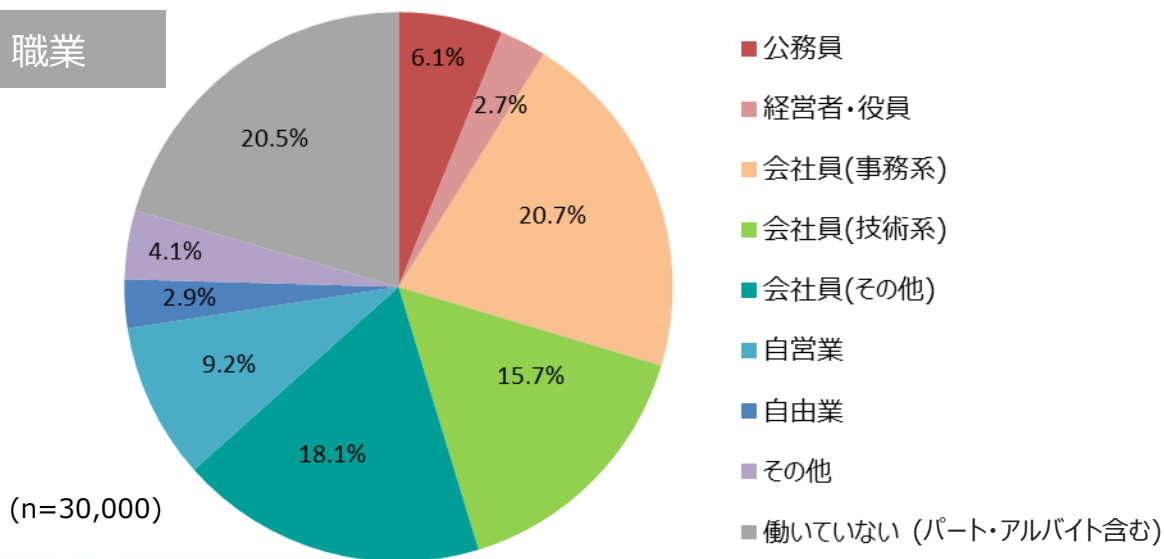
性年代



居住地域



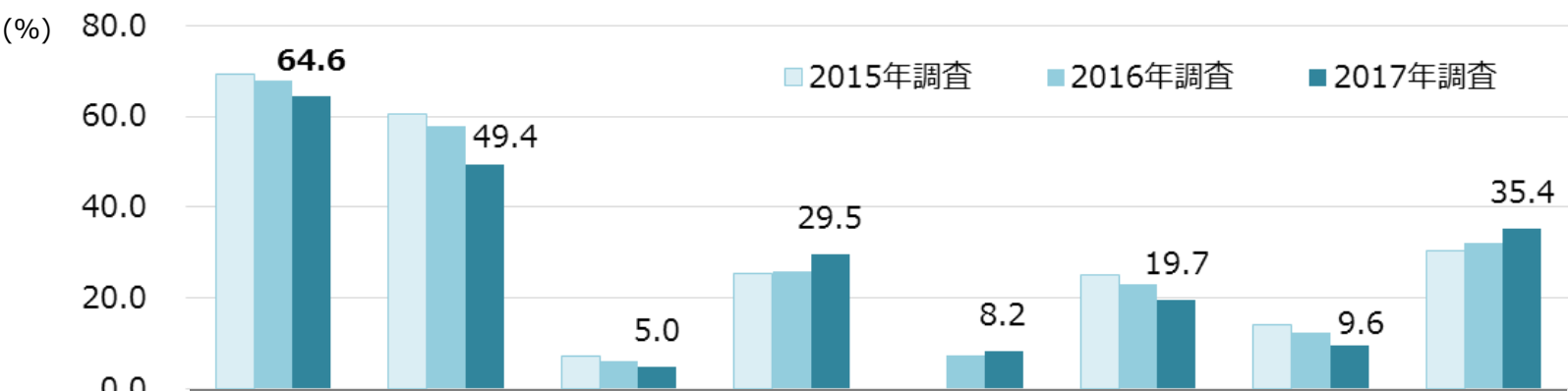
職業



1. 業務での1年以内の地図利用率

- ◆ 「業務で1年以内に地図を利用している」人の割合は64.6%。昨年調査から3.3ポイント減少。
- ◆ 業務利用地図でもっとも利用率が高いのは「パソコン用インターネット地図」(49.4%)。ただし昨年調査から8.5ポイント減少し、5割を切った。
- ◆ 「スマートフォン用インターネット地図」は昨年調査から3.7ポイント増加し29.5%。

Q.次に挙げる地図や位置情報に関連する商品・サービスについて、あなたがここ1年以内にお仕事や学術・研究目的で利用したことのあるものをすべてお答えください。(複数回答)

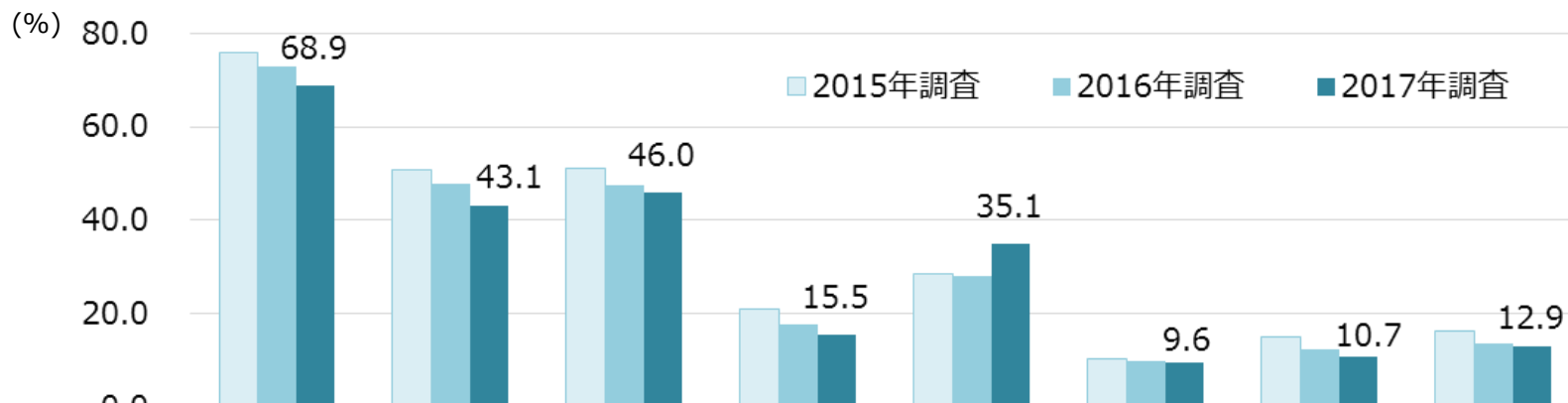


	n	1年以内に地図を利用している	パソコン用インターネット地図	パソコン用地図ソフトウェア	スマートフォン用インターネット地図	スマートフォンのカーナビアプリ	カーナビ	紙地図	1年以内に地図を利用していない
2017年調査	30,000	64.6	49.4	5.0	29.5	8.2	19.7	9.6	35.4
2016年調査	30,000	67.9	57.9	6.2	25.8	7.2	23.2	12.3	32.1
2015年調査	33,640	69.5	60.4	7.2	25.3	-	25.2	14.0	30.5

2. 業務での1年以内の利用機器

- ◆ 業務での1年以内利用機器は「パソコン」がもっとも高く、デスクトップ・ノートあわせて68.9%。
ただし、この3年間で減少傾向にある。
- ◆ 「スマートフォン」は35.1%で、昨年調査から6.9ポイント増加。

Q. 以下に挙げる機器の中で、お仕事や学術・研究目的でここ1年以内に使用したことがある機器についてあてはまるものをそれぞれお選びください。
(複数回答) ※上位7項目を抜粋



	n	【小計】パソコン	デスクトップパソコン	ノートパソコン	携帯電話・PHS (スマートフォンを除く)	スマートフォン	タブレット	デジタルカメラ	カーナビゲーション
2017年調査	30,000	68.9	43.1	46.0	15.5	35.1	9.6	10.7	12.9
2016年調査	30,000	72.9	47.7	47.5	17.7	28.2	9.9	12.3	13.6
2015年調査	33,640	76.0	50.7	51.1	21.1	28.6	10.4	15.1	16.2

■ 地図利用実態調査2017 《一般生活者編》

- 【調査手法】 インターネット調査（調査委託先：株式会社マクロミル）
- 【調査エリア】 全国
- 【調査対象者】 18-69歳の男女
- 【サンプル抽出方法】 事前調査：性別・年代を人口構成比に準拠して抽出
本調査：1年以内に地図を月1日以上利用した人を、利用頻度（3段階）で均等抽出
- 【回収数】 事前調査：20,000サンプル / 本調査：1,142サンプル
- 【調査ボリューム】 事前調査：15問 / 本調査：20問
- 【実査期間】 事前調査：2017年2月10日（金）～2月14日（火）
本調査：2017年2月17日（金）～2月18日（土）

■ 地図利用実態調査2017 《ビジネスパーソン編》

- 【調査手法】 インターネット調査（調査委託先：株式会社マクロミル）
- 【調査エリア】 全国
- 【調査対象者】 18-69歳の就業している男女 ※本人または同居家族がマスコミ・広告、新聞・放送業 / 市場調査業従事者を除外
- 【サンプル抽出方法】 調査会社のモニター属性より、就業者（除外業種を除く）を抽出
- 【回収数】 30,000サンプル
- 【調査ボリューム】 7問
- 【実査期間】 2017年2月10日（金）～2月16日（木）

【調査結果に関するお問い合わせ先】 株式会社ゼンリン 事業企画本部 マーケティング部 Mail : research@zenrin.co.jp